

名 称	鹿沼市小中学校再編計画策定に向けた意見交換会（北押原地区）について
日 時	令和 6 年 6 月 6 日（木）19 時 00 分～19 時 58 分
場 所	北押原コミュニティセンター
出席者	参加者：26 名
内容及び 結果等	【質問】 南押原地区では、小中一貫校を検討していると聞いたが、南押原小・中の利用を想定しているのか。南高校の活用などは、検討されていないのか。 【回答】 南押原小・中学校は、南北に隣接した立地となっている。小中一貫校の特徴として、小中学校それぞれの教職員が相互で授業の乗入れを行うことや運動会を始めとする行事等の合同開催などがあり、これらの実現には距離的な要因が非常に重要となる。 統合内容や場所の確定はしておらず今後検討していくものではあるが、南押原小・中学校の地理的要因や地域としても小中一貫教育の研究がされていたことから、南押原地区については、小中一貫校の検討を行っているものである。南高校の校舎を利用することは、現時点では考えていない。 なお、小中一貫校新設に際し、南上野町の方は南押原へ行くのはいかがでしょうかと考えている。
	【質問】 みなみ小の一部の方が南押原へ行くとの話があったが、そのような場合でもみなみ小の適正規模は保たれるのか。 【回答】 実際に南上野町からみなみ小へ通う子どもの数としては、学年当たり 2～3 名である。また、みなみ小にはネバーランド（児童養護施設）があり、人口統計では読めない社会移動により、他所から入ってくることが見込まれる。これらを踏まえると、南上野町の方が南押原へ行っても、みなみ小は適正規模を維持していく想定である。
	【発言者返答】 骨子 p.3 で令和 15 年の児童生徒数見込みを 60 名としているが、社会移動を加味した数字か。 【回答】 あくまでも住民登録の数字をベースとしており、社会移動は加味していない。ネバーランドは児童養護施設であり、ゼロ歳児などはいないため、読み切れないのが実情である。
	【意見】 再編は結構だと思うが、それにより通学距離が遠くなる子どもがいると思う。体力などの面から、通学の負担増を心配しているが、スクールバスなどの導入は検討しているか。 【回答】 再編により通学距離が伸びる子ども達へは、スクールバスで対応する考えである。 スクールバスの運行には、小学校 4km 以上、中学校 6km 以上という基準があるが、地

	区によって通学に対する様々な課題があることから、検討委員会で要望等を踏まえた検討をきちんと行い、既定の基準にとられない柔軟な対応をしていく考えである。 ～事務局から事務連絡～ 1 いただいた意見は、全地区終了後、個人情報に配慮した形で HP 上に掲載させていただきます。 2 今後のスケジュールとしては、6月までに全 15 地区の地域住民向け意見交換会を実施し、7月からはいただいた意見を踏まえた検討、9月にパブリックコメントの実施、10月に計画策定を目指している。 3 計画策定後は、改めて地域に訪問して説明を予定している。 <閉会>19:58
配布資料	・学校再編の目的 ・小中一貫教育について ・鹿沼市小中学校再編計画骨子及び鹿沼市の小中学校の配置図 ・アンケート用紙